

## 大台ヶ原周回線歩道整備基本計画、サイン基本計画

## 1. 大台ヶ原周回線歩道整備基本計画

- (1) 策定年度：平成14年度
- (2) 基本方針
  - 1) 歩道利用に伴う植生や侵食への負担軽減
  - 2) 多様な利用者に配慮した歩道の整備
  - 3) 大台ヶ原の自然景観に配慮した歩道の整備
- (3) 整備方針
  - 1) 丸太土留や部分的な石階段工等を、自然景観に配慮しながら整備
  - 2) 日帰りのハイキング利用者や幅広い世代を対象とする駐車場～日出ヶ岳～大蛇グ  
ラの区間（ゾーンⅠ）と、登山靴等の装備を要する駐車場～シオカラ谷～大蛇グ  
ラの区間（ゾーンⅡ）とに区分し、それぞれに応じた対応をする
- (4) 整備実施時期：平成15年度～16年度

## 2. 大台ヶ原地区サイン計画

- (1) 策定年度：平成15年度
- (2) 基本理念

大台ヶ原の自然、地形等の条件をふまえ、多様な利用者が安全、安心して歩くことができ、利用に関するマナー啓発等、適正な利用を推進するためのサイン計画とする。  
なお、自然景観保全の観点から最小限のサイン整備にとどめる。
- (3) 基本方針
  - 1) 多様な利用者に対応したサイン
  - 2) サインによる自然環境の啓発
  - 3) 整備においては、既存サインの活用、統合、柔軟な対応、自然景観との調和に配慮
- (4) サインシステムの考え方
  - 1) 登山に要する知識や装備、体力のない一般利用者は駐車場から日出ヶ岳～牛石ヶ原～中道を誘導する。
  - 2) 拠点、分岐点での誘導標識と地図により案内・誘導する。迷いやすい箇所、案内誘導の強化を図る。
  - 3) 入口を案内、誘導の主要拠点とし、入山前の情報提供や普及啓発を周知徹底する。
  - 4) 駐車場周辺施設の利用案内を適宜設け、個々の施設の看板等の整理やデザインの統一を求める。
  - 5) 解説標識については、自然再生検討会関係者の意見を聞きつつ、順次、改修・撤去する。（今回の大台ヶ原地区サイン計画では解説標識は対象外とした。）
- (5) 整備実施時期：平成16年度（～平成17年度）